

2025年度中期経営計画目標達成に向けて BUILDING THE FUTURE 2025 未来を創れ

2023 – 2025年度

2024年4月24日

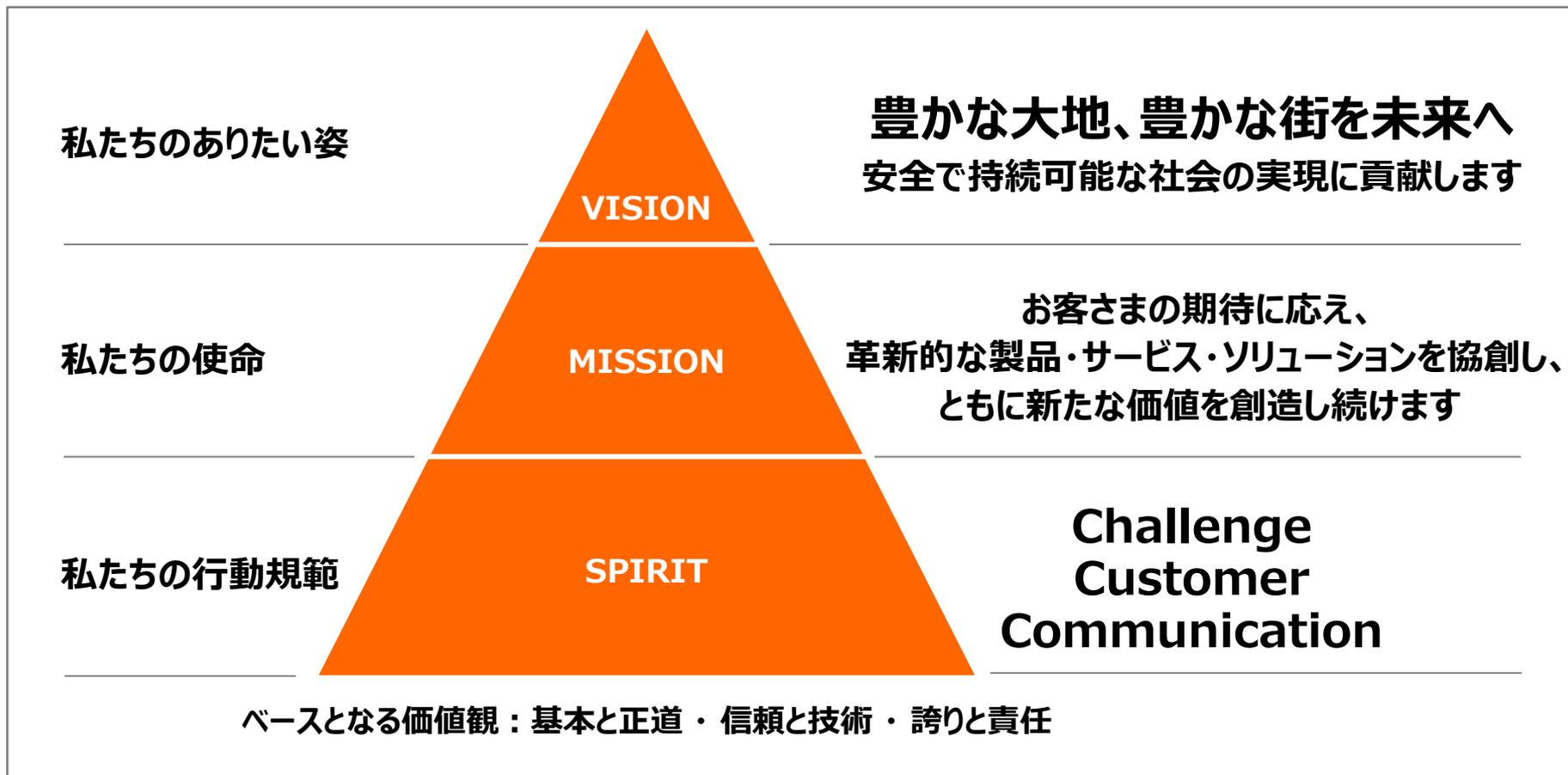
 日立建機株式会社

執行役社長兼COO 先崎 正文

1. **日立建機のグループアイデンティティ**
2. **中期経営計画の戦略の柱**
3. **中期経営計画の概要**
4. **中期経営計画の定量的目標**

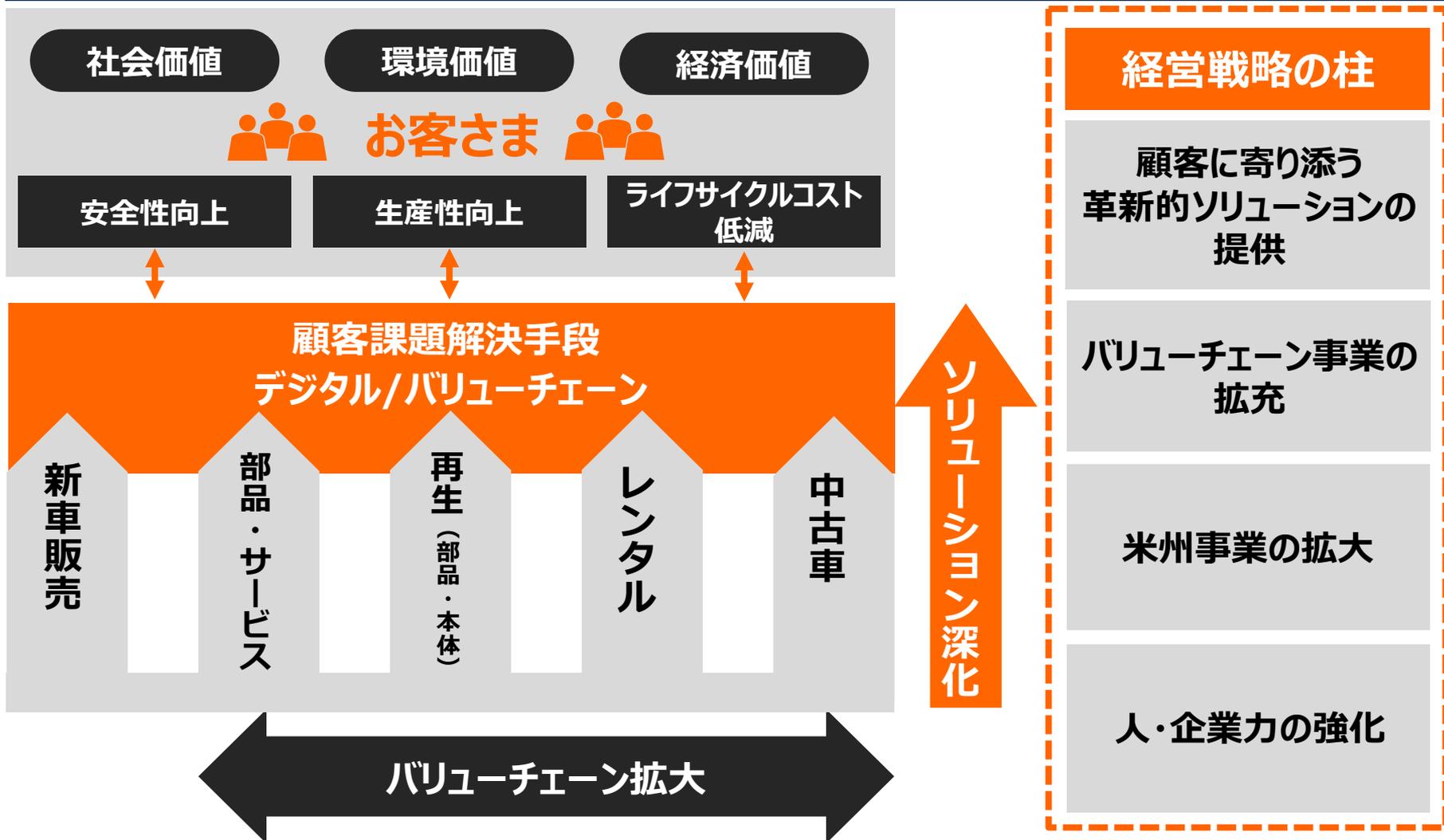
事業環境の変化を受け、当社独自のアイデンティティを策定

Reliable Solutions 私たちは、お客さまの課題をともに解決する、身近で頼りになるパートナーです



コーポレート・カラー Reliable Orange

革新的ソリューションの提供で 真のソリューションプロバイダーとしての成長をめざす



3. 中期経営計画の概要

経営戦略の柱	主な重点施策
顧客に寄り添う 革新的ソリューションの 提供	<ul style="list-style-type: none">■ お客さま・異業種パートナーと協創してエコシステムを構築 報告 1■ デジタルプラットフォームによるサイトソリューションを構築 報告 2
バリューチェーン事業の 拡充	<ul style="list-style-type: none">■ 再生品生産能力を拡張、グローバル最適生産体制を確立 報告 3■ 異なる市場環境に対応した海外レンタル事業を拡大
米州事業の拡大	<ul style="list-style-type: none">■ 販売チャネルを多様化およびファイナンス事業を拡充 報告 4■ 中南米における独自販売網を構築
人・企業力の強化	<ul style="list-style-type: none">■ 人財がグローバルに活躍できる育成の場や機会の提供 報告 5■ アジャイル開発による企業文化の変革

建設現場のゼロ・エミッション化に向けて異業種のパートナーと協創

可搬式充電設備の協業拡大

日本市場

共同開発

九州電力

欧州市場

販売・レンタル

伊藤忠商事

アルフェン社



アルフェン社の可搬式充電設備

パートナー企業との協業による「ZERO EMISSION EV-LAB」設立を決定

- 現場を再現したデモエリア、来場者とのコミュニケーションエリアを常設
- 電動ショベルのほか、可搬式充電設備、EVトラック、締固め機械、キャリアダンプなどを設置予定



イメージ図

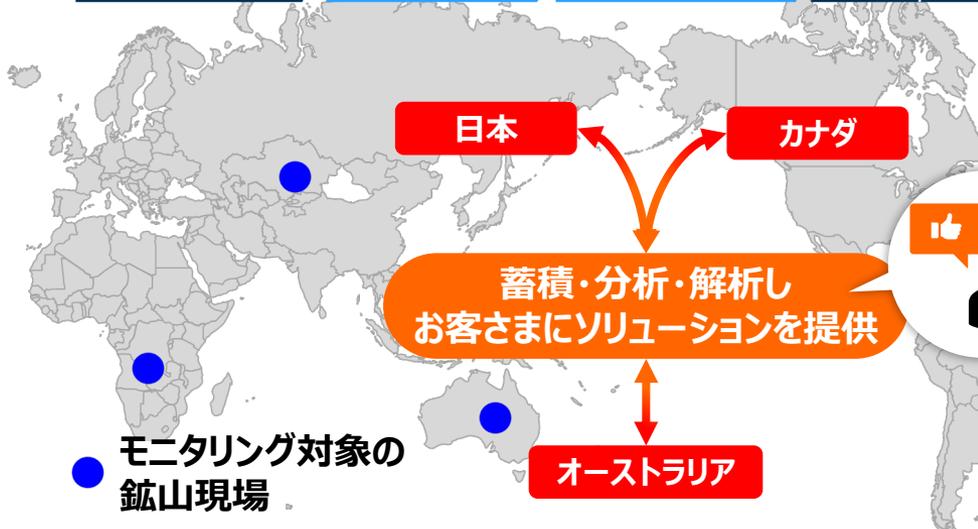
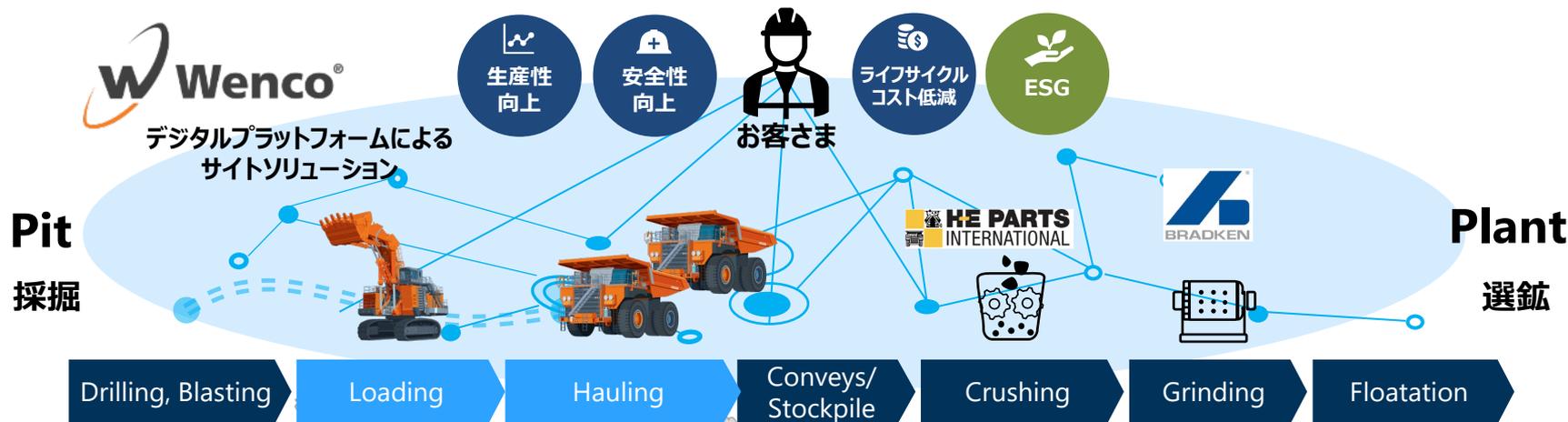
協力企業

いすゞ自動車

伊藤忠商事

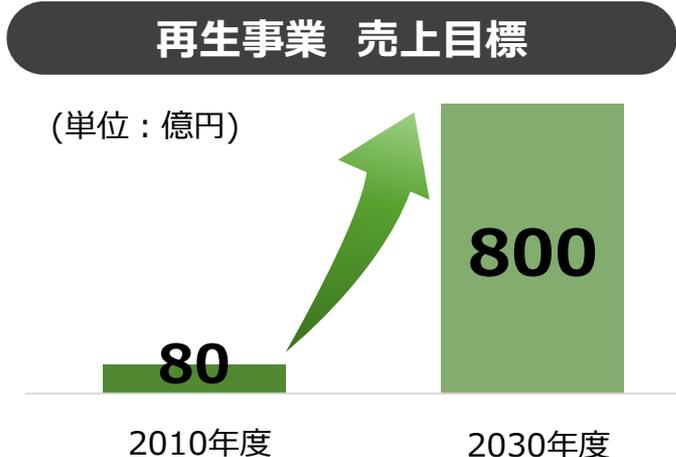
九州電力

複数の鉱山現場でモニタリング範囲を拡大し、 鉱山全体の効率化・最適化に貢献



資源循環型ビジネスモデルをめざし、国内再生拠点の集約とグローバル再生拠点を強化

播州工場を再生のマザー工場としグローバルで連携を強化



米州の再生事業を強化

日立建機トラック

2023年10月より再生オペレーション開始

大型・超大型油圧ショベル、ダンプトラック
ホイールローダ向け部品の再生



H-E Parts

鉦山機械のクーリングシステムやエンジンの再生

再生拠点数 (日立建機含む)

11か国・23拠点

- 日立建機
- H-E Parts

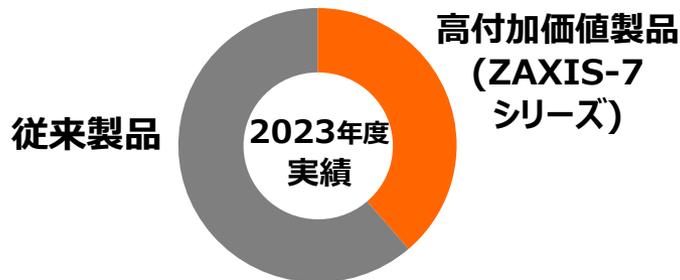


高付加価値製品の販売開始

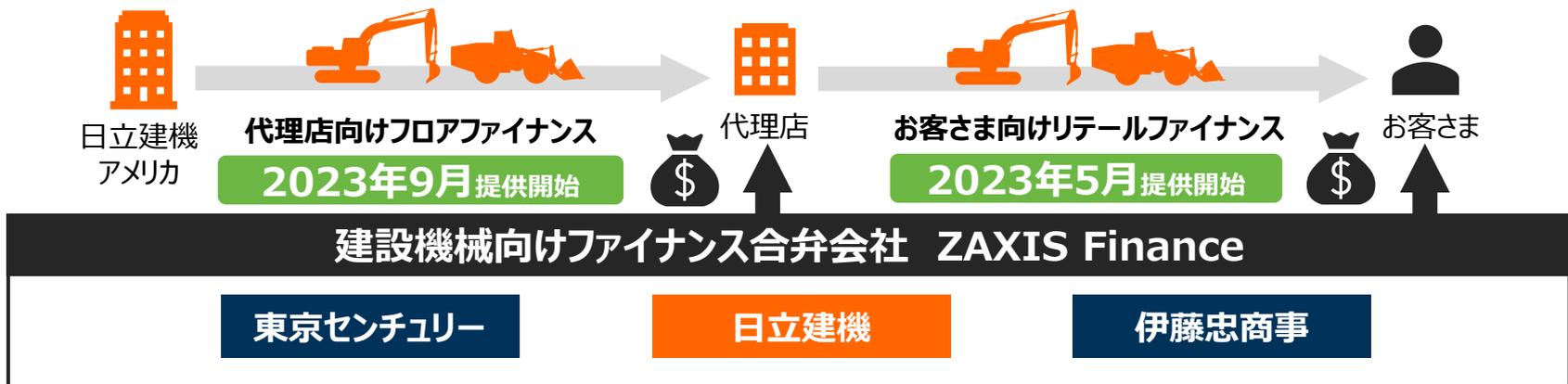
2023年8月 高付加価値製品のZAXIS-7シリーズを納入開始、順調に販売拡大



高付加価値製品 米州販売台数



伊藤忠商事グループとのファイナンス合併会社がオペレーション開始



人的資本に関するISO認証取得（2023年11月）

- 人的資本に関する情報開示の国際的ガイドライン「ISO 30414」の認証を機械メーカーとして初めて取得
- 「Human Capital Report 2023」を発行
- 情報開示を強化し、ステークホルダーとの対話を深化させて人財マネジメント改善に活用



土浦工場に開発リソースを集約しイノベーションを推進（2023年5月）

- 研究・開発部門を中心に、約3,000人を集結
- 多様なコミュニケーションスペースで、部門の枠を超えてコラボレーションを活性化



新規事業へのチャレンジを通じ企業文化を変革

第1回KENKI BUSINESS CHALLENGE (KBC)を開催し、価値創造のノウハウを学び、事業化をめざす



4. 中期経営計画の定量的目標

経営指標		中期経営計画 2025年度目標	2023年度実績	
成長性	<ul style="list-style-type: none"> ・バリューチェーン比率 ・米州事業独自展開による売上収益 ・売上収益研究開発費比率 	50%以上 3,000億円以上 3%以上	39.4% 2,175億円 2.2%	
収益性	<ul style="list-style-type: none"> ・調整後営業利益率 ・EBITDAマージン率*1 	13%以上 18%以上	12.0% 16.8%	
安全性	<ul style="list-style-type: none"> ・ネットD/Eレシオ 	0.40以下	0.57	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・営業CFマージン率*1 ・ROE ・ROIC*1*3 	10%以上 13%以上 9%以上	5.2% 13.1% 9.8%	
株主還元*2	<ul style="list-style-type: none"> ・連結配当性向 	連結配当性向30%~40%を目安に安定的かつ継続的に配当を実施	34.2%	
ESG	<ul style="list-style-type: none"> ・環境負荷低減 CO₂削減(総量) 	生産(Scope1+2) △40% 2010年度比 製品(Scope3) △22% 2010年度比	「日立建機グループ統合報告書2024」で公開予定	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ダイバーシティ、 エクイティ& インクルージョン 	<ul style="list-style-type: none"> ・海外グループ会社のGM以上の現地化比率*1 		75%
	<ul style="list-style-type: none"> ・男女別の管理職比率(連結)*1 	女性13% 男性15%	女性11%*5 男性16%	

*1:本中計より新たに指標として定めたもの

*2:営業キャッシュフローと資金配分に対する基本的な考え方として、維持・強化投資、先行投資、株主還元+有利子負債返済にそれぞれ1/3の充当をめざす

*3:ROIC目標における比較すべき資本コスト(WACC)の水準を7%程度と認識

*4:2023年8月実績

*5:見込み値

BUILDING THE FUTURE 2025

未来を創れ

- 顧客に寄り添う革新的ソリューションの提供
- バリューチェーン事業の拡充
- 米州事業の拡大
- 人・企業力の強化

安全と健康とコンプライアンス第一 | CIF (顧客課題解決志向) の徹底 | Kenkijinスピリットの発揮

日立建機グループでは、持続可能な開発目標 (SDGs) の17の目標のうち、10項目の重点目標を設定しています。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標

【見通しに関する注記事項】

本資料に記載されている、当期ならびに将来の業績に関する予想、計画、見通し等は、現在入手可能な情報に基づき当社が合理的と判断したものです。実際の業績は、様々な要因の変化により、記載の予想、計画、見通しとは大きく異なることがあります。そのような要因としては、主要市場の経済状況および製品需要の変動、為替相場の変動、国内外の各種規制ならびに会計基準・慣行等の変更などが含まれます。

【商標注記】

「AERIAL ANGLE」「ConSite」「Solution Linkage」「ZCORE」は、日立建機株式会社の登録商標です。

2024年4月24日

 日立建機株式会社